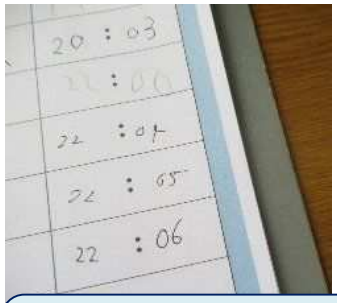
やる気発生装置

教室通信 Vol.１４１９
Ｈ３１．４．１９
個別指導教室
セカンド・キャンパス
０７５－７１１－０３９９
https://www.second-campus.com/

狭き門の大学受験に、チャンスあり

　きのうは、授業をしていてふと気づいたら２１時５０分になってました。終了時間は２２時。普段であれば、そろそろ残っている人も１人か２人になって、質問に答えたりしながらも、これから洗い物を済ませておこうかな、とか、明日はゴミの日だからゴミ箱をまとめておかないかな、とか、片付けのことが頭をよぎる時間です。が、このとき勉強していたのは５人で、閉店まぎわであることをほとんど感じさせない様子で黙々と勉強をしていました。たしか高３生が４人、中２生が１人だったんですが、４月にして、目的意識と集中力が高まっているんではないかなと感じました。何度も書いていますが、大学受験、厳しくなっていますからね。僕が変わる以前に、受験生たちの意識ができているんだと思います。そんなわけで特に今週は、いったん教室を開けたらあっという間に２２時になってしまう、充実した時間が流れています。

　センター試験が「共通テスト」に切り替えられ、まだ未確定の部分もありますが、新たな大学入試が確実に動き出しています。現行のセンター試験は、次回で最後です。浪人をしたら、まだ不透明な新しい入試制度の中で、新しい対策をしてきた現役生たちと勝負しなければならない。なんとしても現役で決めたい…という思いを全国の高３生たちが持っています。さらには、ここ２年間で厳格化した私大入試の影響で、大量の浪人生が発生しています。関関同立レベルを志して受験勉強を再スタートさせている浪人生は、実際にはかなりの数、産近佛龍ランクの入試に食い込んでくるのは確実です。どのレベル、どの学部学科をめざすにしても、今年度以上の激戦になることは想像に難くありません。令和最初にして現行最後のセンター試験と、それに象徴される２０２０年の大学入試において、上にも下にもライバルが控えている状況で戦わねばならないのが現在の高３生です。ただ、しっかりと成長してそこを乗り越えたならば、そのプロセスは今後の人生で大きな価値となってくれるのは間違いないです。損なときに生まれたなあ、と嘆くよりも、チャンスだと考えたほうがいいでしょう。夜遅く、最後まで机に向かっている君たちの姿を見て、僕自身そのことを改めて実感しました。



２２時ギリギリまで集中して勉強している人が多くいます。教えている僕にとっても、時間があっという間に過ぎていきます。

上に浪人生が残っているし、次年には入試制度激変が控えている。激戦にさらされる高３生。難関を乗り越えてつかんだものほど、その価値は大きいです。

当面の教室予定

4/19(金)～4/20(土)
１６：００～２２：００
4/21(日)
お休みです m(_ _)m
4/22(月)～4/27(土)
１６：００～２２：００
4/28(日)～5/5(日)
お休みです m(_ _)m

連休期間中、特別授業などを開催する予定です。教室より別途お知らせします。
※変更する場合があります。